

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

A. コースワークの充実・強化

①人材養成目的に沿った科目構成の整理

●一橋大学法学研究科法学・国際関係専攻

「ディベート教育による新時代のリーダー育成」の事例

(具体的に何を実施したのか)

大学院生のディベート能力を強化するために、法律専攻者のためのディベート科目および国際関係専攻者のためのディベート科目 (Debate and Presentation I～IV) を新設し、2年目には、1年目でのコース履修者のために中級および上級のディベート科目を設けた。ディベート教育の目標として内外の学会等での発表を奨励した。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

客員准教授を採用し、ディベート教育においては、能力別クラス編成とするための事前テストや中級への進級を検討するためにプログラム・コーディネータの役割を務めてもらった。また、実践的ディベート教育を実施するために、ブリティッシュ・カウンシルのスタッフと協力した。また、ディベート能力を現場で試すために、また、本来の目標として、積極的に内外の学会報告応募を奨励した。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

ディベート教育のなかで中級への進級を進むことができる大学院生も結構存在し、ディベート教育は確実に成果を挙げていくことができた。本プログラム実施中およびその後において、海外の大学へ留学することができた大学院生も複数おり、成果を感じることもできた。